

日光医療センター通信

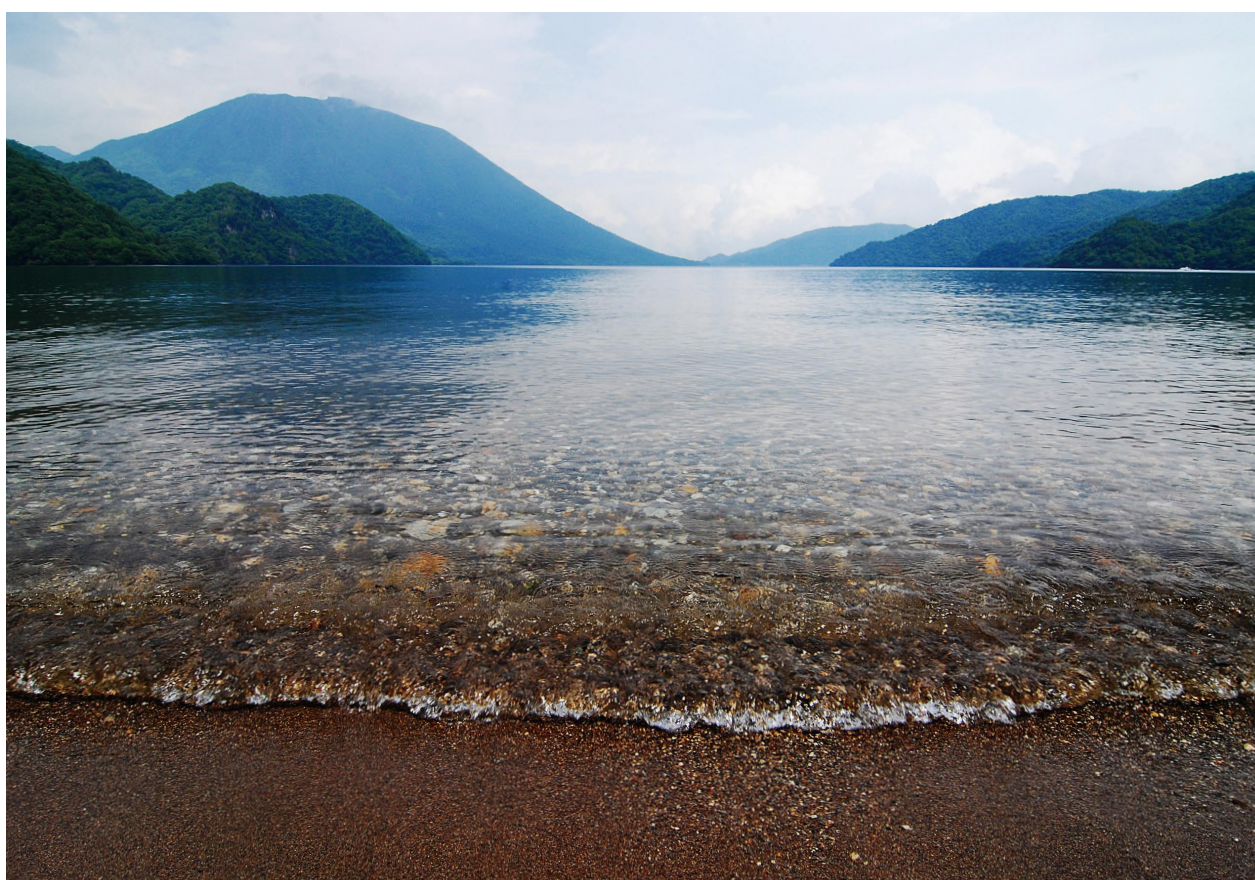
～いろは～



獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

第 40 号

2019.6



千手が浜から男体山（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（呼吸器内科）	2
部門紹介（透析部）	3
外来担当医一覧	4
獨協医科大学日光医療センターから全国へ発信	5
連携医療機関認定病院紹介／求人情報	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 呼吸器内科

【診療内容】

呼吸器内科：原澤 寛

呼吸器部門は、一般内科に加え呼吸器疾患の診療を行っています。
多彩な呼吸器疾患患者さんに、質が高く、かつ暖かみのある医療の提供をめざしています。

【関連する症状】

咳、痰、血痰、息切れ、胸痛

【疾患名】

急性気管支炎、市中肺炎、誤嚥性肺炎、肺膿瘍
慢性閉塞性肺疾患（肺気腫・慢性気管支炎）、気管支喘息、
間質性肺炎、サルコイドーシス、じん肺症、肺癌、睡眠時無呼吸症候群

【主な検査】

● 肺機能検査

閉塞性換気障害、拘束性換気障害の診断を行います。身体所見や自覚症状を組み合わせ、呼吸器疾患の治療に役立てます。

● 気管支内視鏡

内視鏡スタッフの協力を得て行います。

細い内視鏡を、口から入れ気管や肺の内部を観察します。肺の一部を採取し又、内部から洗浄液を採取し呼吸器疾患を診断します。

気管支内視鏡を使用し、薬物を注入し治療する事もあります。

● 睡眠ポリソムノグラフィ (PSG)

睡眠時無呼吸症候群の有無を調べます。呼吸モニターに加え脳波や心電図を含む多項目を同時に測定します。夜間睡眠中に装着し診断後、経鼻陽圧呼吸(n-CPAP)による治療を行います。

【呼吸器外来の曜日、担当者】

月、火、土（交代制）	原澤 寛医師
月、水、土（交代制）	戸田正夫医師
月（午後）	小池亮祐医師
水（午後）	福島史哉医師
木	野村由至医師
金	宮尾智之医師
金（午後）	伊藤 紘医師

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 透析部

【透析部の紹介】

ME副主任 有坂 安弘

透析部は現在25床、月水金2クール、火木土1クールで外来維持透析と入院を要する透析患者の治療を行っております。午前の外来患者さん40名、午後の外来患者さん12名が通院しています。また、入院患者さんの受け入れも随時行っており、突然透析治療が必要となってしまった場合や、他の治療が必要な場合でも入院しての維持透析が可能となっております。急性期から慢性期までの幅広いフォローを可能としています。

当院では通常の血液透析（HD）に併せて、不安定な循環動態にメリットの高いOn-Line HDFも施行しております。On-Line HDFの場合、補充液としての透析液が直接血液と混ざりますので、水質の清浄化のためにガイドラインに則った厳正な水質管理のもと、安全に配慮した透析を行っております。他にも、血液浄化療法として高コレステロール血症に対するLDL吸着療法、敗血症に対するエンド



トキシン吸着療法、さらに、治療に難渋する腹水を難治性腹水と呼びますが、難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法（CART：Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy）も行っております。患者さんの生活の質（QOL：Quality of Life）の向上にも役立つので抗がん剤などとあわせて積極的に行われています。

また、シャントトラブルにも対応しており、シャント狭窄や閉塞に対するシャントPTAや血栓除去、シャント再建術等も行っており、必要に応じてその後の緊急透析も行っております。シャントは透析患者さんの命綱ですので、異常を早期に発見できるように日常的にスタッフによるシャント音の聴診、触診を行っております。当院の患者さんだけでなく、他院でのシャントトラブルについても積極的に受け入れをしています。

当院透析部では、近隣の病院の透析患者さんの様々なトラブルに対しても対応し、地域医療に貢献できるよう尽力していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



外来担当医一覧

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		交代担当 土曜日 午前 午後
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
呼吸器内科	*1.2 原澤 寛教授 *1.2 戸田正夫教授 【原澤外来・戸田正夫外来】	原澤 寛教授 戸田正夫教授	原澤 寛教授 戸田正夫教授	原澤 寛教授 戸田正夫教授	戸田正夫教授(第1,3,5週) 【原澤外来・戸田正夫外来】 福岡史哉講師	野村由至医師	宮尾智之医師	宮尾智之医師	宮尾智之医師	宮尾智之医師	(交代担当) 原澤 寛教授(第2,5週) 戸田正夫教授(第1,4週)
呼吸器外科		伊藤祥之医師									
消化器内科	*1 増山智史医師 *2 佐藤愛医師(新患)	増山智史医師	増山智史医師(新患)	増山智史医師	近藤真之医師 増山智史医師	近藤真之医師(新患)				佐藤愛講師 非常勤医師(新患)	交代制にて担当(新患)
循環器内科	*1 星合 愛医師 *2 堀江康人教授 【本業外来】	杉山拓史医師	上間貴子医師 星合 愛医師	星合 愛医師	中元隆明特任教授 杉村浩之教授 巴 崇医師 【肺動脈圧・心AIC外来】	安 隆則教授 杉村浩之教授	堀江康人教授 星合 愛医師	堀江康人教授 河邊 篤彦医師	堀江康人教授 河邊 篤彦医師	堀江康人教授 河邊 篤彦医師	杉山拓史医師(第1,5週) 河邊篤彦医師(第2週) 上間貴子医師(第4週)
糖尿病・内分泌内科		伴場信之教授	中谷祐己准教授 【甲狀腺エコー外来】	伴場信之教授	伴場信之教授	岡 宗男医師 (第2,4週)	岡 宗男医師 (第2,4週)	中谷祐己准教授	中谷祐己准教授	中谷祐己准教授(第2,4週) 中谷祐己准教授(第1,5週)	
脳神経内科		渡邊由佳准教授 【4の認知・新患外来】 権名智彦医師	渡邊由佳准教授 権名智彦医師	権名智彦医師	渡邊由佳准教授	松原健朗医師	松原健朗医師 (新患外来・第3週)	堀江淳一医師 永島隆香講師 (新患外来・第3週)	堀江淳一医師	堀江淳一医師	
外科		久保 俊医師	非常勤医師	非常勤医師	尾形英生講師	志田陽介医師	志田陽介医師	尾形英生講師	尾形英生講師	尾形英生講師	菊池真穂子医師
整形外科		長田広重教授 押久保岳人医師 *藤田雅太郎非常勤講師 【リウマチ外来】(第1週)	長田広重教授 押久保岳人医師	長田広重教授 押久保岳人医師	山本崑嗣医師 押久保岳人医師	山本崑嗣医師	山本崑嗣医師	山本崑嗣医師 高井盛光医師 (第2,4週)	山本崑嗣医師	山本崑嗣医師	藤田一雄医師 山本崑嗣医師 長田広重教授(第2,5週)
形成外科		鈴木彩子医師				鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師(第2,4週)
心臓・血管外科		手塚雅博医師 【第1,3,5週】 緒方孝治医師 (第2,4週)	手塚雅博医師 緒方孝治医師	緒方孝治医師							
皮膚科		幸 英夫講師 【予約外来】			池上徹崇医師	池上徹崇医師	池上徹崇医師	池上徹崇医師	池上徹崇医師	池上徹崇医師	
泌尿器科		幸 英夫講師 【予約外来】			松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	
痔瘻科											
禁煙外来											
ドック・健診(予約制)		松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授
看護外来											

獨協医科大学日光医療センター
〒321-2893
栃木県日光市高徳332番地
TEL 0288-76-1515 (代電)
FAX 0288-76-1700

○受付時間 月曜日～土曜日(8:50～11:00) ※再診受付は午前8時30分から稼働いたしております。(再診予約の方)
月曜日～金曜日(9:00～12:00/13:00～16:30)、禁煙外来:毎週(火)13:30～16:30(事前予約制)の診察に要
土曜日(9:00～12:30) ※リウマチ外来:毎月第1月曜日(予約のみ)
※心臓・血管外科:水、金曜日については14:00～16:00(予約のみ)
○予約変更等のご連絡は、原則として前日(土曜、休診日を除く)の午後3時～4時までにご連絡ください。その他の時間帯はご連絡ください。
(内科受付0288-76-0620/外科受付0288-76-0622/整形外科受付0288-76-0623/小児リナリオン診療センターへご連絡下さい)
○患者様をご紹介くださる際は、緊急時を除き地域連携・入退院支援センターへご連絡下さい。
* 脳神経内科:新患受付前日のみ、月曜日午前[10の忘れ新患外来]については、完全予約制
* 診療医師が交代になる場合がありますので、事前にお電話にてご連絡ください。
* 1. 予約外来 * 2. 予約外来

獨協医科大学日光医療センターから全国へ発信

— 一手首骨折治療プレートの開発 —

副院長

整形外科主任教授 長田 伝重

現在の我が国は超高齢化社会を突き進んでいます。高齢者の骨は年齢とともに弱くなり（いわゆる骨粗鬆症（こつそしょうしょう）、骨折を起こし易くなります。骨粗鬆症で起こしやすい主な骨折部位の1つとして手首の骨（橈骨遠位端骨折）がありますが、日本での橈骨遠位端骨折の年間発生率は10万人あたり約109人といわれています。この骨折の治療はギプス固定が基本ですが、骨折が粉々に折れている（粉碎骨折）場合や、骨同士の接触する部分での骨折（関節内骨折）ではギプスで治すことが困難となります。このような場合は金属の板（プレート）、棒（髄内釘）、ねじ（スクリュー）などで固定する手術を行います。手術法の1つとしてプレートで固定する掌側ロッキングプレート固定法が2000年に開発されました。この固定方法はプレートとスクリューがねじで強固に固定されるため、固定されない従来のプレートと比較して骨折を固定する力が格段に増し、治療成績が良くなりました。その結果、瞬く間に世界中に広がり、現在は最も一般的な手術治療法になりました。この手術で用いられる掌側ロッキングプレートは欧米製を輸入して用いることが一般的でしたが、日本人の骨には大きすぎる等の問題がありました。そこで、2003年獨協医科大学整形外科在職中に日本人の骨に合う掌側ロッキングプレート（DRV Locking Plate®）を日本で初めて開発し、世に送り出しました。その後、2010年には改良型のHearty plate®を開発し、2012年に獨協医科大学日光医療センターに赴任した後の2015年には、世界初のハイブリッドロッキング機構を持つHYBRIX®を開発しました。ハイブリッドロッキング機構とは、ロッキングスクリューを一定方向にのみ挿入できるロッキング機構と多方向に挿入できるロッキング機構の両方を備えたロッキングシステムです。HYBRIX®は本機構により従来の掌側ロッキングプレートよりも対応可能な骨折の種類が増え、骨折を固定する力もさらに増し、さらに良い治療成績を得ることが可能となりました。その結果、今までのプレート以上に全国の病院で使用されています。

また、2003年のDRV Locking Plate®の開発から現在まで、これらプレートを用いた手術方法の開発や改良も他施設に先駆けて私達獨協医科大学整形外科あるいは獨協医科大学日光医療センター—整形外科において行い、全国に発信してきました。

まさに、橈骨遠位端骨折治療においては獨協医科大学日光医療センターは日本のトップランナーといえます。

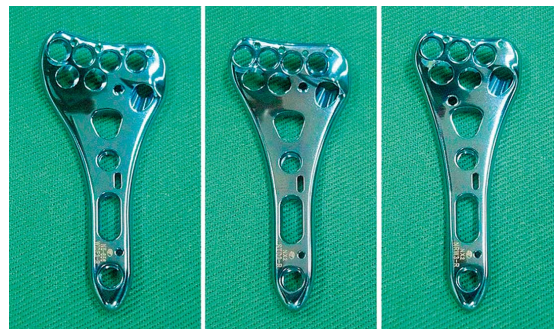


図1

獨協医科大学日光医療センターで開発した橈骨遠位端骨折用の最新型掌側ロッキングプレート HYBRIX®（ミズホ）
（全ての体格に対応する大、中、小の3つのサイズバリエーション）



図2

橈骨にHYBRIX®を設置してロッキングスクリューで固定した模式図
（青はスクリューを一定方向にのみ刺入できるロッキング機構に挿入されたロッキングスクリュー、ゴールドは多方向に刺入できるロッキング機構に挿入されたロッキングスクリュー）

連携医療機関認定病院紹介 ～ 上都賀総合病院 病院長 十川 康弘 ～

上都賀総合病院の生い立ちと地域の中で

上都賀総合病院は、昭和10年に鹿沼や周辺の村落の地域住民、農業や繊維産業などの1次産業に従事する人たちで作る産業組合の長と首長たちが地元で出資者を募り、自らの命と健康のために立ち上げた地域医療を目的とした病院です。産業組合とは明治期に信用、販売、購買、利用の4事業を共同で行うことが法的に認められた組織です。これが現在の農協、信用金庫、信用組合、生協のルーツになっています。大正期には、医療の購買つまり医薬品の共同購買と、利用つまり病床などの医療資源の共同利用が法的に認められ、昭和初期に全国で産業組合立病院が設立されました。これが全国に108ある厚生連病院グループのルーツになっています。まさに根っからの地域医療のための病院なのです。戦後GHQにより産業組合が解体され、農業協同組合が組織されました。厚生連病院は、農協法で2団体以上の農協の出資を受ける必要があります。当院は、鹿沼市と日光市にまたがる上都賀農協と宇都宮農協の出資による上都賀厚生連が経営しています。厚生連病院は医療法で公的病院と定められています。同じ公的病院には、県立病院、市立病院、日赤病院、済生会病院が含まれています。税制面で一部優遇を受け一方、公のための医療を行わなければなりません。当院の医療圏人口はおおよそ15万人くらいと見込まれますが、圏内の方々が日常的に見舞われるかもしれない健康障害や出産など、この地域で安心して暮らし続けられるように医療を提供し続けています。医学の進歩に伴い、より専門化しより細分化されており医師不足もあってすべての疾患領域をカバーすることは容易ではありません。これからもより一層の充実を目指し、また足りないところは地域のすべての医療機関と緊密に連携して地域住民の期待に応えていきたいと考えています。



当センターと一緒に働いてみませんか？

令和2年度採用
看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※令和元年度採用についても随時対応いたします。

編集後記

栃木県のデスティネーションキャンペーンからちょうど1年経過となりました。日光市を含め多くの観光客が県内を訪問して頂きました。また、今年はラグビーのワールドカップや来年の東京オリンピックを控え外国からのお客様も沢山お見えになることでしょう。日光の中禅寺湖畔にも新しくホテルが建設されるとのこと、活気のある話題が満ち溢れております。

日光医療センターも、新築移転が決まり職場内外も慌ただしくなっていくでしょう。

花の咲かない冬から、新緑の春へと向かって心も体もリフレッシュして行きましょう。まずは、近くの温泉に浸かって、錆び付いた身体を解すことにします。(スノーマン)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第40号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc.html>

発行年月日/令和元年6月00日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<http://dokkyoika-daigaku.disc-chc.jp/nikko>

または、右記のQRコードを読み取りアクセスして下さい。

